

同意議案 資料

令和 7 年 6 月

浜田市議会定例会議

梨田 昌孝 氏 功績事由

梨田昌孝氏は、浜田市出身の元プロ野球選手であり、引退後は、プロ野球球団の監督として、素晴らしい実績を残すとともに、後輩の指導、育成に大きな成果を果たし、日本の野球界に多大な貢献をされました。

浜田高校３年生の時、主将として春夏甲子園に出場、強肩強打の捕手として、全日本高校野球選抜チームに選出され、卒業後、1972年には、近鉄バファローズに入団、正捕手として活躍し、二度のリーグ優勝に貢献されました。

現役引退後は、テレビでの野球解説者やコーチを経て、2000年、大阪近鉄バファローズの監督に就任され、島根県出身者として、初のプロ野球監督となりました。その後も、北海道日本ハムファイターズ、東北楽天ゴールデンイーグルスなどで指揮を執り、数度にわたりリーグ優勝を果たされました。

さらに、同氏は、第３回 WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）日本代表チームに野手総合コーチとして招聘され、日本を代表する多くの有名選手の指導に当たられました。練習、そして試合を通じ、代表選手の成長を支え、士気を高め、チームは、大会で準決勝まで進出し、ベスト４の好成績を収められました。

このように、監督、コーチとして、その卓越した指導力や人望、誠実な人柄により、チームとして優秀な実績を果たすとともに、若い選手の育成においても、大きな実績を残し、プロ野球界の発展に大きな功績を残されました。

さらに、同氏は、プロ野球人として、全国に名を知られる存在となられた後も、ふるさと浜田への愛着を持ち続け、地域貢献に尽力されています。

2005年、新市誕生とともに始まった「梨田昌孝杯 学童少年野球大会」は、本年、第20回を迎え、多くの子どもたちにとって、スポーツを通じて健全な成長を促す機会となっています。同氏は、本大会に参加され、選手に指導、激励の言葉をかけられるなど、子どもたちにとって貴重な経験となるとともに、浜田市におけるスポーツ振興、青少年の健全育成に、本大会が大いに寄与しています。

また、2020年、市外在住の出身者や浜田に愛着を持っておられる方々等で組織する「浜田応援団」の結成に当たっては、団長に就任していただくなど、浜田を代表する著名人として、浜田応援団のアピールに貢献いただいています。

このように、同氏は、プロ野球人として、選手・監督時代を通じ、スポーツ界の発展に多大な貢献を果たすとともに、「浜田」の名を全国に知らしめました。ふるさと浜田を愛し、浜田市民に明るい希望を与え、地域貢献に寄与された、その功績は誠に多大であります。

経 歴 書

出身地 (省略)

現住所 (省略)

氏 名 なし だ まさ たか
梨 田 昌 孝
生年月日 (省略)
年 齢 (省略)

(学 歴)

1969 年 浜田市立第一中学校卒業
1972 年 島根県立浜田高等学校卒業

(職 歴)

1972 年 近鉄バファローズ 入団 (ドラフト 2 位)
1988 年 同 現役引退
1989 年 プロ野球解説者、野球評論家
1993 年 近鉄バファローズ 作戦バッテリーコーチ就任
1995 年 同 バッテリーコーチ就任
1996 年 同 二軍監督就任
1999 年 大阪近鉄バファローズ 二軍監督就任
2000 年 同 監督就任
2004 年 同 監督退任
2005 年 プロ野球解説者、野球評論家
2008 年 北海道日本ハムファイターズ 監督就任
2011 年 同 監督退任
2012 年 プロ野球解説者、野球評論家
2013 年 2013 ワールド・ベースボール・クラシック (WBC)
日本代表 野手総合コーチ就任
2016 年 東北楽天ゴールデンイーグルス 監督就任
2018 年 同 監督退任
2019 年 プロ野球解説者、野球評論家

(主要成績)

選手通算成績 : 1323 試合 3444 打数 874 安打 113 本塁打 打率.254
・ベストナイン 3 回 (1979 年～1981 年)
・ゴールデングラブ賞 4 回 (1979 年～1981 年、1983 年)
・オールスター出場 7 回 (1979 年～1983 年、1985 年～1986 年)
・リーグ優勝 2 回 (1979 年～1980 年)
監督通算成績 : 805 勝 776 敗 (2025 年 6 月現在)
・リーグ優勝 2 回 (2001 年、2009 年)

(表 彰)

2001 年 島根県功労者表彰
2001 年 浜田市ふるさと栄誉賞 (旧浜田市)